

令和2年度 自己評価結果公表シート 日知屋東幼稚園

1.幼稚園の教育目標		
○幼稚園の目標 子どもの自立と共生の心を育む		
○子どもの自立を促すために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める		
2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画		
1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実を図る。 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4.安心で安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。 5.幼稚園と小学校との連携を推進する 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。		
3.評価項目の達成及び取組状況		
評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	園児像の目標達成のために、「ねらい」や「目的」を明確にし、より具体的な計画や実施に取り組んできた。今後は、年間の流れや教育活動間のさらなる関連を図ることに努めたい。
2.道徳指導等の充実	A	育てたい子ども像や望ましい子ども像の共通理解・共通実践に努めてきた。道徳的な指導と共に道徳的な実践の場として、園児にも成長のあとが見られるようになってきた。
3.基本的な生活習慣	A	園児の挨拶が場を得たものになってきた。来園者にも好印象を与えているようである。指導していることを、子ども達はしっかりと理解し、実践できるようになってきている。
4.安心で安全な幼稚園	A	警察署・消防署・交通安全協会等の実践的な指導をいただきながら、本年度も避難訓練等を実施することができた。単調な訓練になりがちな傾向にあるので、最新の情報の収集や実践に努めたい。
5.小学校との連携	B	コロナ禍の影響で、小学生・園児間の交流活動はできなかったが、職員間は研修や連絡会等を通して連携は保つことができた。「10の姿」を通してさらに連携を図っていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	B	外部講師との交流は時期を得て実施することができたが、福祉施設の訪問や、地域の方々や事業所等への感謝の意を伝える交流はコロナ禍の中で難しいものがあった。
4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果		
結果	理由	
A	富高学園の目標を基に、めざす幼稚園像「褒めて、認めて、励まして、ありがとうの言葉あふれる幼稚園」と、育てたい子ども像「ひたむきに、がまん強く、しんせつに」をめざしての2年目であった。保育や園内での生活全般・各行事で意識し取り組むように努めてきた。保護者への幼稚園評価結果においても、AもしくはBの評価が96.9%であり、保護者からも園内の保育活動について、一定の評価をいただいたと思う。コロ	

	<p>ナ禍の中での1年間で実施できない行事等もあった。基礎・基本の大切さを改めて確認することのできた一年であった。</p>
<p>※項目 3.4 の評価結果の表示方法 A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である</p>	
<p>5. 今後取り組むべき課題</p>	
課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
1. 教育活動の充実	<p>幼児期の終わりまでに育て欲しい10の姿の研修や、キャリアアップのためのオンライン研修をさらに充実していく。</p>
2. 道徳指導等の充実	<p>飼育や栽培などが日常のものとなり、自然への親しみや慈愛など、体験や経験を通して、生きものへの関心を高めていきたい。</p>
3. 基本的な生活習慣	<p>教師間の共通理解と一貫性のある指導の継続を図っていきたい。 「思いをつたえるところ」と「あいさつ」を重視していきたい。</p>
4. 安心して安全な幼稚園	<p>安全点検を重視し、施設・設備による怪我等に配慮していきたい。 避難訓練については、課題意識をもって取り組んでいきたい。</p>
5. 小学校との連携	<p>情報交換に偏ることなく、教師間の交流を図ることを基本において、さらに連携を深めていきたい。</p>
6. 豊かな交流体験の充実	<p>キャリア教育の観点から、中学生及び高校生との交流、事業所や施設との連携を図り、コロナ禍前の交流体験に戻していきたい。</p>
<p>6. 特記事項</p>	
学校関係者の評価	<p>特に指摘する事項はなく、妥当であると認められる。</p>